

放課後等デイサービス 夢門塾 自己評価表

○本評価表は、放課後等デイサービスに従事する従業者の方に、事業所の自己評価していただくものです。
 「はい」又は「いいえ」のどちらかに○を記入するとともに、従業者の視点で、「事業所が工夫していると思う点」や「改善が必要だと思われる点」などについて記入してください。

事業所名 夢門塾ゆうゆう西大寺

公表日 2026年 1月

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	5	0	・活動ごとに部屋を変えられるくらいの人数である。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	0	5		追加人員の補充を予定している。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	5	0	・学習、運動等、部屋を活動ごとに分け、子どもたちに何をするのか分かりやすく周知している。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	5	0	・毎日掃除をして清潔を保っている。 ・活動に合わせて部屋を使い分けている。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	5	0	・学習で集中が難しい時、落ち着かない時には、クールダウン室や相談室を使用している。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	5	0	・改善方法を考えるのは職員全員が参加している。	改善点に気付く人が限られているため、全員が気付けるよう業務内容を把握する。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	0	・評価表のご意見を受け、体験会や参観日等、ご家族の方に参加していただける行事を増やした。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	0		事業所内では連携ができていますが、会社との連携は十分にできていないと感じる。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	0	5		会社の方針に従います。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	5	0	・会社で月に1度研修が開催されている。	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	5	0	・夢通信（事業所お便り）で何をするかを伝えている。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	5	0	・年に2回以上モニタリングを行い、保護者様のニーズを把握した上で計画書を作成している。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	5	0	・職員同士で意見を出し合いながら作成している。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	5	0	・いつでも閲覧できるようにしていたり、ミーティングや終礼時に共有したりしている。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	5	0	・個別支援計画書や専門的支援実施計画書を通して行っている。	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	5	0	・5領域を意識した個別支援計画書を作成し、ステップで目標達成ができる内容を設定している。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	5	0	・職員間で案を検討して計画している。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	5	0	・これまでの活動記録を確認し、今求められているものに合わせたプログラムを考えている。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ合わせて放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	5	0	・少なくとも半年に1回はモニタリングを実施し、計画の見直しを行っている。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	5	0	・朝礼時に確認している。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	5	0	・終礼にて共有を行っている。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	5	0	・気付いたことはメモに残し、終礼や朝礼等で共有をしている。	ケース記録をその日の間にかけないことがあるので、職員間で連携し、当日中に記録する仕組みを作る
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	5	0	・少なくとも半年に1回実施している。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか。	5	0	・始まりの会や運動時間等で、子ども自身の選択や決定、また子どもたちの関わりで個々が主体性をもてるような支援を行っている。	
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	5	0	・始まりの会でやりたい運動を発表する機会をつくっている。	
	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	5	0	・会議で伝えたいことを事前に職員間で共有し、主に管理者と児童発達支援管理責任者が参加している。	

関係機関や保護者との連携	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	5	0	・何かあった時には連携できる体制は整っている。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	5	0	・保護者様を通してや、学校側と直接連絡をしている。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	0	5		保護者様の希望があれば行う。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	0	5		保護者様の希望があれば行う。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	5	0	・子ども支援部会に参加し研修を受けている。	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他の子どもと活動する機会があるか。	5	0	・公園や児童館に行ったり、体験会を実施し地域の方を招いたりした。	
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	5	0	・東部地域部会、子ども支援部会に参加した。	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	5	0	・送迎時にその日にあったことを伝えている。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	5	0	・保護者参加の行事の後に座談会を行い、家で困っていることのアドバイスや夢門塾で行っていることを伝えている。	
	保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	5	0	・見学や契約時に伝えている。
37		放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	5	0	・半年に1回以上のペースでモニタリングを行い、保護者様の意向を確認する場を設けている。 ・子どもの意向は利用日を中心に適時間取りしている。	
38		「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	5	0	・計画書の作成後に同意をいただいております、必ず控への用紙もお渡ししている。	
39		家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	5	0	・送迎時、電話、保護者参観、モニタリング等を通じ、相談を受けた際に必要な助言や支援を行っている。	
40		父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	5	0	・保護者参加のイベントの後に座談会を行い、交流の場を設けている。	
41		こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	5	0	・苦情があった場合は職員間で情報共有を行い、迅速に解決できるように努めている。	
42		定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	5	0	・1ヶ月に1度、紙やアプリで定期的に活動内容を発信している。	
43		個人情報の取扱いに十分留意しているか。	5	0	・鍵付きの書類類で個人情報は管理している。	個人情報の取り扱いについては出来ていると思うが、会社全体で研修を行ってもらうと、さらに共通理解が深まると考える。
44		障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	5	0	・障害特性を考慮しつつ、内容を分かりやすくするために紙に書きだしたりイラストを使ったりして事細かく伝えている。	
45		事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	5	0	・体験会を開催し、障害の有無に関わらず誰でも遊びに来れる機会を設けた。	
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	5	0	・緊急時の対応や避難場所について、契約時に確認している。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	5	0	・子どもたちと一緒に避難訓練を年に2回（各1週間ずつ）行っている。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	5	0	・契約時に保護者様に聞き取りをしている。	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	0	5	・保護者様に聞き取りをして一覧表を作り、アレルギーのあるものを食べないように注意している。	指示書はお預かりしていないが、引き続き保護者様に確認を取りながら対応していく
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	5	0	・会社全体で研修を行い、安全に支援できるようにしている。	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	5	0	・契約時にお伝えしている。	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	5	0	・出来事をその日中に共有し、再発防止に向けた方策を職員間で検討・共有している。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	5	0	・虐待防止の研修を会社でしている。	
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	5	0	・契約時に説明しているが、現在身体拘束をするような場面はない。	
保護者様評価、自己評価についてまとめ						
<ul style="list-style-type: none"> ・お子様の様子を伝える際に、出来なかったことだけでなく、「〇〇したできるようになった」「できなかったが〇〇は頑張れた」というように伝えるよう気をつけていく。 ・自分は出来ていると思っていたが、他職員は出来ていないと思っていることもあったので、認識のずれをなくすために情報共有をしっかりとしていきたい。 ・概ね評価は良かったが、情報共有や共通理解、職員間の連携等、まだまだ改善できることをしていく。 						